

愛に生き

深川市立一已中学校 学校だより

令和8年4月30日

発行者：深川市立一已中学校 電話：0164-22-3341

<http://ed.city.fukagawa.hokkaido.jp/ichivanih/index.html>

真に生き

美に生きる

「連携と協働に支えられた子どもたちの成長に期待して」

校長 高杉 直人

例年になく雪解けが早く進みましたが、気温がなかなか上がりず、グラウンドで練習する野球部の子どもたちの体調が少し気がかりです。緑の息吹も見受けられるようになりましたが、その緑から活力を感じるにはもう少し待たなければならないかもしれません。

4月7日（火）に始業式と入学式を行いました。

始業式では、2・3年生の昨年度1年分の成長を振り返りながら、自信と期待が窺える表情をしっかりと確認しました。入学式では期待と不安の中がありながらもしっかりとした眼差しをした64名の1年生を迎えました。194名の子どもたちが活躍する、令和8年度の一已中学校が開幕しました。

4週間が経ちました。開幕ダッシュはしっかりできていると思います。

入学式では、私から、「笑顔」を大切にしてほしいこと、「学ぶこと」を大切にしてほしいこと、本校の教育目標である「愛に生き 真に生き 美に生きる」とはどのようなことなのかをしっかりと考えるよう、子どもたちにお願ひしました。

保護者の皆様には、194名の成長を支えるご理解とご協力、ご支援をよろしくお願ひします。

4月21日（火）の授業参観、懇談では、沢山の保護者の皆様に来校いただきました。ありがとうございました。本校保護者の皆様の学校への関心と大きな期待に身が引き締まります。

さて、本年度の教育活動や教職員の働き方改革などを進めるに当たってのポイントは、学年懇談で説明させていただきましたが、重ねてこの学校だよりでもお知らせします。

本年度は、本校の教育目標に向かい、「実践目標」に「対話」を重視しながら、「子どもを主語にし、すべての子どものよりよい学びを保障する」、「生涯にわたって学び続け、『自らの人生を舵取りする力』を育成する」、「安定した学習集団の育成と支える教師集団の力量の向上を図る」を据え、教育活動を進めてまいります。

また、現在進められている次の学習指導要領策定の動きを踏まえることや、小学校と中学校が一貫し計画性をもって義務教育9年間の子どもの成長をしっかりと支えることも大切にまいります。

1年間どうぞよろしくお願ひします。

一 已 中 学 校 T O P I C S

祝 御入学おめでとうございます

4月7日（火）、令和8年度入学式が執り行われ、一已中学校の新制服に身を包んだ新入生64名が入学しました。これからの3年間の中学校生活において、多くの人との関わりの中で、ふるさと深川市に誇りを持ち、たくましく成長していくことを願っています。2、3年生が歓迎の歌「Lets search for Tomorrow」を披露しました。全校生徒194名が力を合わせて、一已中学校の新たな歴史を築いていくことを期待しています。

授業参観・懇談会

4月21日（火）、授業参観および懇談会を実施し、どの学年も多くの保護者の方々に参加いただきました。今回の授業については、各学級担任が行うとともに、学年懇談会では、学校長から学校経営についての説明、学年教諭からは学習面や生活面について説明をしました。

今後も、お子様の学校での生活、活躍の様子を参観していただくよう、積極的な御来校をお願いいたします。

適切な生成 AI 利活用に関わる全校道徳

4月22日（水）、全校生徒を対象とした「生成AIを正しく使おう!」と題した授業を行いました。生成AIは日常生活に欠かすことができないものではありますが、大変便利な一方で多くの危険もはらんでいます。生成AIを正しく理解し、適切に利活用することが大切なのです。

今回の授業を通して学んだことを今後の日常生活にも生かしてほしいと思います。



令和8年度 全国学力・学習状況調査

全国一斉に文科省「全国学力・学習状況調査」が第3学年を対象に行われました。本校では、4月20日（月）にweb回答による英語3技能（読むこと・書くこと・聞くこと）と生活習慣や学習習慣に関する質問調査を、23日（木）には、国語と数学に関する調査を実施しました。（なお、5月8日には英語「話すこと」の調査を実施いたします）

この調査は、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立て、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する」ことを目的としています。学校では、この調査結果を分析し、全教員で共有化を図り、生徒の学力向上（新しい時代に求められる資質・能力の確実な定着）に向けて、より効果的な取組の実践を目指してまいります。

子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談してください。

●電話相談

 **0120-3882-56**

（無料、毎日24時間対応）

●メール相談

doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

●来所相談 ※10:00~16:00

（土日・祝日、年末年始はお休みです。）

子ども相談支援センター

札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階

5月の行事予定

1（金）開校記念日

3（日）憲法記念日

4（月）みどりの日

5（火）子どもの日

6（水）振替休日

7（木）スクールカウンセラー相談日
PTA ボランティア

8（金）全国学力・学習状況調査（話すこと）
心臓検診（1年）、委局・代議

11（月）避難訓練、PTA ボランティア

13（水）3年修学旅行（～15日）

1・2年二者面談（～15日）

19（火）尿検査1次、教育相談（～26日）

21（木）歯科検診、生徒総会

25（月）スクールカウンセラー相談日

27（水）委局・代議

家庭学習習慣づくりウィーク

28（木）体育大会前日準備

29（金）体育大会

※交通安全等には十分気を付けて、連休を過ごしてほしいと思います。

正しいSNSの使い方について、親子でルールづくりを

SNSを介したトラブルは全国的に問題化し、近隣の学校等においても、大なり小なりSNSの使用による人間関係の摩擦へと発展する事案が起きています。

先日、学年懇談会において学校長からもお話がありましたが、私たち大人の目の届かないところでも、子ども達は便利なスマホなどの道具を使ってSNS等で他者とのつながりをもつことも考えられます。それ自体は悪いことではありませんが、今一度、家庭内のルールづくりを確認するなど、トラブル防止に努めていただきますようお願いいたします。

■□■ 利用状況確認チェックリスト ■□■

- 利用しているSNSの種類（Instagram や Tik Tok）を把握している
- 我が子のアカウントが公開設定か非公開設定かを確認している
- やりとりしている内容や頻度を把握している
- 投稿している写真や動画の内容を確認している
- 参加しているグループやコミュニティの特性、メンバーを知っている
- 共有している個人情報（住所・電話番号・学校名など）を確認し、適切な設定を促している
- SNSで起こりそうな問題やトラブルについて対処方法を我が子と共有している



■□■ ポイント ■□■

SNSトラブルで困ったことが起きたとき、すぐ保護者に相談できる雰囲気をつくっておくことが大切です。子どもがルールを破るのではないかとそればかり警戒していると、子どもが何かあったときに怒られると思い、保護者に相談しづらくなってしまいます。

トラブルが起きたときに保護者がすぐ対応できるよう、普段からコミュニケーションをとっておくことも必要です。

転 入 職 員 紹 介

鹿糠 昌弘 教頭

滝川市立江陵中学校からまいりました教頭の鹿糠昌弘（かぬかまさひろ）と申します。一已中学校に赴任して明るく素直な子ども達、温かく学校教育を支えてくださる保護者の皆様、惜しみなく教育活動に御協力くださる地域の方々との出会い、本当に嬉しく思います。今後もPTA活動をはじめ、様々な場面でお世話になるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

佐々木 祥悟 教諭

1学年副担任、数学科、バレーボール部を担当しております、佐々木祥悟と申します。一已中学校の生徒は明るく、何事にも真剣に取り組む姿が印象的です。生徒とともに「考える」ことを大切に、保護者の皆様と連携しながら、お子様の成長を支えてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

秋山 慎吾 教諭

岩見沢市立東光中学校から異動してきました、秋山慎吾です。深川で勤務するのは初めてです。わからないこともあります。子どもたちと支えあいながら一緒に成長していきたいと考えています。一已中の子どもたちの明るい未来のために身を粉にして精一杯頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

竹越 保 教諭

深川市立深川中学校から参りました竹越保と申します。深川での勤務は4年目になりました。深川でまた働くことができ、大変嬉しく思います。子どもたちの体力向上の手助けができるよう、精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

令和8年度 深川市立一已中学校 学校経営グランドデザイン

本校の教育目標 『愛に生き 真に生き 美に生きる』

- めざす学校像 『生徒、教師、保護者、地域が 誇りをもてる学校』
めざす生徒像 『知・徳・体をバランスよく身に付けた生徒』
めざす教師像 『教育への情熱と使命感を強くもち、研修と実践から学び続ける教師』

「実践目標」～「対話」の重視～

○子どもを主語にし、すべての子どものよりよい学びを保障する

○生涯にわたって学び続け、「自らの人生を舵取りする力」を育成する

○安定した学習集団の育成と支える教師集団の力量の向上を図る

- ・多様な子どもの「深い学び」を確かなものにする（深い学びの実装）
- ・個のよさや特性が活かされる学びを実践する（深い学びの実装）
- ・心理的安全性を重視し、潤いと温かみのある関係を醸成する（多様性の包摂）
- ・一人一人の子どもの自己実現を妨げる課題の克服に寄り添う（多様性の包摂）

- ・育成をめざす資質・能力を明確にした「したい的で面白くよく分かる」授業の実践（資質・能力ベースの単元等の学習過程、学習の基盤となる資質・能力の育成）
- ・ICT 機器の効果的な活用（タブレット端末の賢い使い方、生成 AI の利活用）
- ・授業力を高める校内研修
- ・困り感に寄り添う特別支援教育

学ぶ喜び

- ・自律に必要な資質・能力を高める支援
- ・「考え、議論し、心が動く」道徳の授業

豊かな心

- ・いじめの積極的認知と早期解決、不応感に寄り添う支援
- ・情報モラル、情報リテラシーの育成
- ・3できと3つのいっぱい活動の確実な実行
- ・子どもの自己実現を妨げる課題の克服への支援

- ・自分らしい働き方
- ・時間と効率を意識した余白のある働き方
- ・業務の改善、効率化
- ・超過勤務は月 45 時間、年間 360 時間以内を目標
- ・年休の取得とプラスワン休暇

仕事と生活を充実

地域とともに

- ・生活習慣と学習習慣の確立
- ・小・中学校で子どもの成長を確実につなぐ連携と協働（一已中学校校区の小中連携によるパワーアッププランの実行）
- ・積極的な情報発信
- ・地域住民、保護者との協働（PTA、CS、地域人材）